



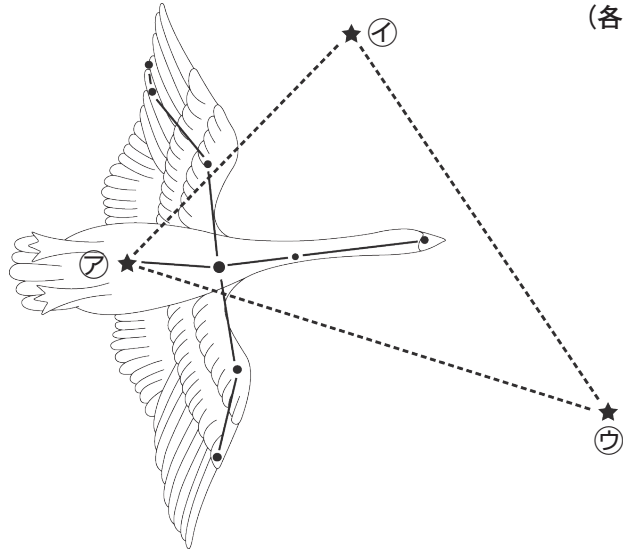
4年

-月や星の動き- ★夏の星

1. 夏の夜空に見える星について、図を参考にしながら、次の問いに答えなさい。

知識

(各4点)



(1) 次の文の () にあてはまる言葉を書きなさい。

①星と星を結び、いくつかのまとまりに分けたものを () という。

②図の㉒ (), ㉑ベガ, ㉓アルタイルの3つの星を結んでできる大きな三角形を () という。

(2) 星どうしの並び方は、時間とともに変わるか。 ()

(3) 星の色や明るさには、ちがいがあるか。 ()

2. 丸い天じょうに星をうつし出し、まるで本物の星を見るように、美しい星空をながめることができるそう置を何というか。

知識 (6点)

()

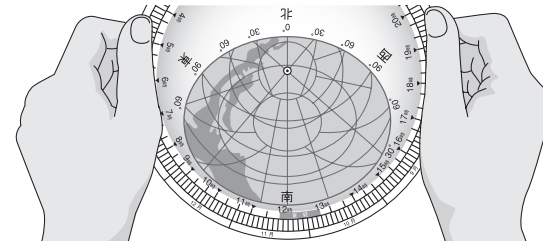
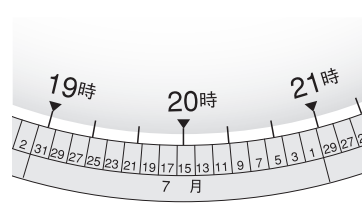
3. 星や星ぎをさがす道具について、次の問いに答えなさい。

技能 (各5点)

(1) 星や星ぎをさがすときに使う道具を何というか。 ()

(2) この道具の使い方について、() にあてはまる言葉を書きなさい。

- ①観察するときの月日・時こくを右の図のように合わせる。右の図の場合、7月15日 () 時の星の位置をしめしている。
- ②調べたい方位を向いて立ち、その方位が書いてある側を () にして、頭の上にかざし、さがす星の位置の見当をつける。



4. 夜空の星を観察するとき、持っていったほうがよいものには○を、持っていく必要のないものには×を書きなさい。

知識 (各2点)

- () 方位じしん () 時計
- () ものさし () カメラ
- () かい中電灯 () 分度器
- () プレパラート () タブレット
- () 星ぎ早見

知識	観察・実験の技能	思考・判断・表現	合計
/59	/15	/26	/100

5. 夏の夜空に見える星について、() にあてはまる言葉を書きなさい。

知識 (各5点)

(1) 北の空には、ほぼ真北の方角に () があり、これをはさんで、おおぐまぎと () ぎが見られる。

(2) おおぐまぎのこしからしっぽにあたる、7つの明るい星からなる星の集まりを () という。

6. 星に関する次の文で、正しいものには○を、まちがっているものには×を書きなさい。

思考・判断・表現 (各2点)

- () どの星も色は同じである。
- () 星の明るさはそれぞれちがう。
- () 夏の大三角は1つの星ぎの中にある。
- () 夏の大三角は正三角形である。
- () 星はくもりの日でも見える。
- () 同じ時こくに観察すれば、星ぎの位置はいつも変わらない。
- () 北と七星は形がひしゃくになている。
- () プラネタリウムでは、昼に星を見ることはできない。

7. 星の観察をするとき、星ぎ早見のほかに方位じしんと時計を持っていく理由を書きなさい。

思考・判断・表現 (10点)

Blank box for writing the answer to question 7.